

# 福島第一原子力発電所 2号機PCVガス管理設備 運転上の制限逸脱について

< 参 考 資 料 >  
2 0 1 7 年 1 1 月 2 0 日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

2017年11月20日(月)、2号機原子炉格納容器ガス管理設備  
(以下、「PCVガス管理設備」)のA系が作業のために停止していた  
ところ、午前8時10分、当該設備B系の警報「2号機PCVガス管理  
出口DRM B 流量異常 高/低)が発生した。

( DRM:ダスト放射線モニタ)

これにより、短半減期核種の放射能濃度が監視できない状態となった  
ことから、運転制限上の「1チャンネルが動作可能であること」を満足  
できなくなったため、「運転上の制限(LCO)逸脱」を判断した。

その後、2号PCVガス管理設備B系の配管に設置されている弁を  
操作し、ガス管理設備の放射線検出器1チャンネル(B系)により  
短半減期核種の放射能濃度が監視可能な状態にあることを確認し、  
LCO復帰を判断。

## 時系列

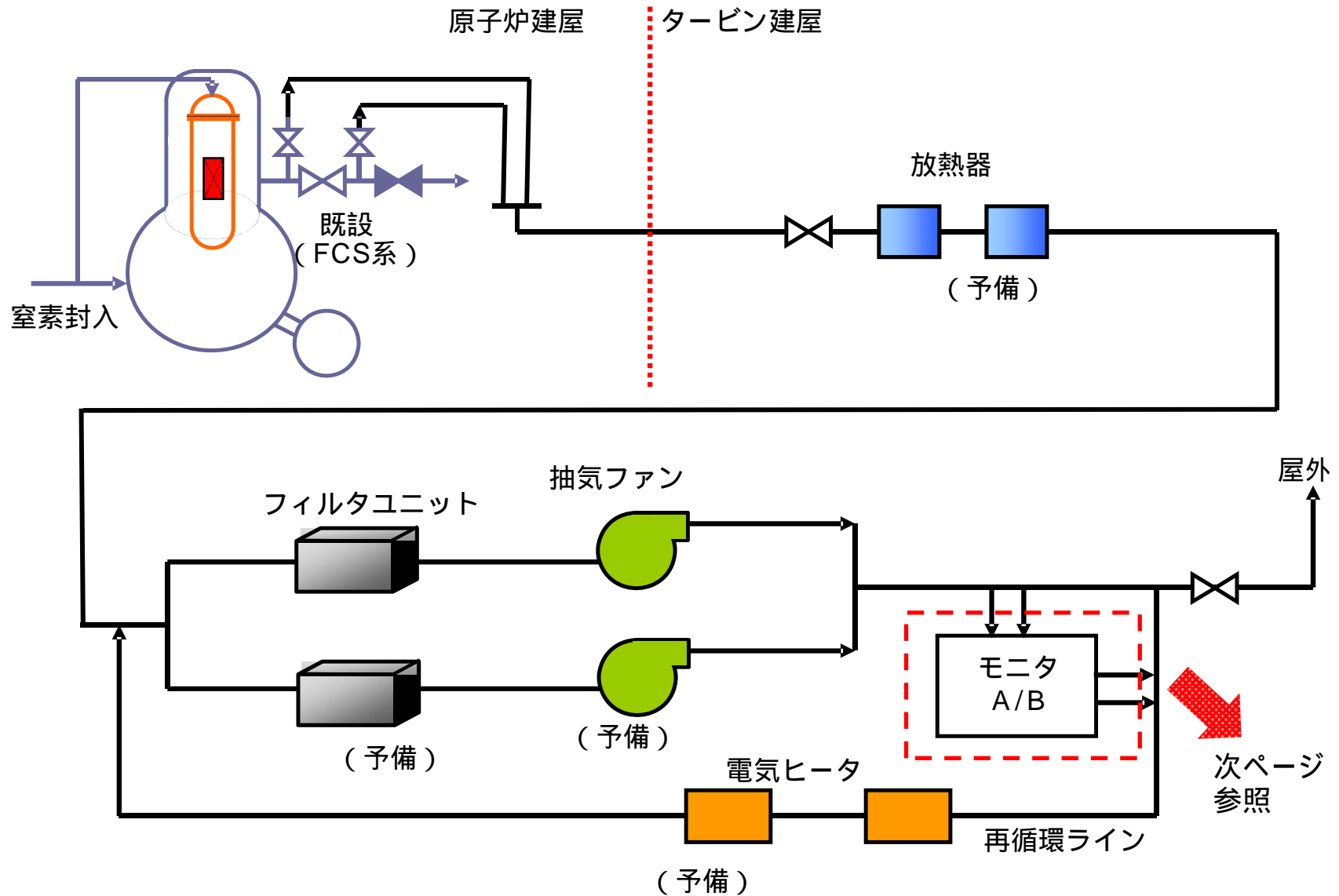
---

11月20日(月)

- 午前6時24分 2号機PCVガス管理設備A系の保守作業のため停止
- 8時10分 2号機PCVガス管理出口DRM B 流量高/低 発生
- 8時30分 **LCO逸脱を判断**  
(特定原子炉施設の保安第1編第24条「未臨界監視」  
原子炉格納容器ガス管理設備の放射線検出器において2号  
機の運転上の制限「1チャンネルが動作可能であること」  
を満足しない状態)
- 9時08分 21B弁開  
現場調査の結果、21B弁(希ガスモニタ出口弁)が  
閉になっていたことから、開操作を実施した。
- 10時53分 **LCO復帰を判断**  
2号PCVガス管理設備B系の配管に設置されている弁を  
操作し、その後、10時53分ガス管理設備の放射線検出器  
1チャンネル(B系)により短半減期核種の放射能濃度  
が監視可能な状態にあることを確認。
- 午後3時49分 保守作業のため停止していた2号PCVガス管理システム  
希ガスモニタA系も復旧

当該弁が「閉」となっていた原因については、現在調査中。

# 2号機PCVガス管理設備 系統概略図



# 2号機PCVガス管理設備 系統概略図

